

市議会2月定例会

平成28年度
一般会計**4,689億2千万円**

(前年度比:2.8%、129億円増)

子育て支援 **安心安全**を
最優先に過去最大規模の予算

さいたま市議会2月定例会(2月2日開会)は3月11日、平成28年度予算を含む60件を超える議案等を審議し閉会しました。

今回の予算の特長は「子育て支援」、「安心・安全」分野への重点配分が実現したことです。待機児童ゼロを目指し約34億8,875万円を計上し、保育所等の定員を約1,300人増やす等の施策を展開して

いきます。また、アクティブチケット交付事業やシルバーポイント事業などの更なる促進を図るために約2億8,666万円を計上したのをはじめ、健康マイレージ制度の本格実施のために約1億3,533万円、生活支援コーディネーターの配置に約5,626万円を計上し、高齢者が元気に安心して暮らせるための支援策が進められます。

その他、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた支援・普及啓発事業に約3,234万円、地方創生事業の一環として進めている「(仮称)東日本連携支援センター」の設置に約3,565万円など、活力ある未来に繋げる予算編成となっています。

(2頁に総合政策委員会での質問内容などを掲載)

次世代エネルギーの供給拠点に

桜区に水素ステーション開設

桜区(中島2-6-1)に水素ステーションが開設されました。東京ガスが運営し、同社の天然ガススタンド「浦和エコ・ステーション」に併設されています。都市ガスから製造した水素を燃料電池自動車に充てんする「オンサイト方式」を採用し、水素製造装置を持たない水素ステーションへ出荷することも可能です。



桜区中島に開設された水素ステーションの外観。本市は「次世代自動車・スマートエネルギー特区」の重点項目として、東京ガス株式会社と2015年1月から、計画段階より連携して建設を進めてきた。建設にあたっては、経済産業省の「水素供給設備整備事業費補助金」の交付を受けている。

浦和水素ステーションの概要

所在地：さいたま市桜区中島2-6-1
敷地面積：1500平方メートル
水素供給方式：オンサイト方式
充填能力：300N立方メートル/h

充填圧力：70MPa
充填速度：3分程度/台
主要構成機器：水素製造装置、水素圧縮機、蓄ガス設備(蓄圧器)、
ディスペンサー、水素ブレイク設備、水素出荷設備

総合政策委員会

クリテリウムの地域 経済効果を問う



さいたま市議会2月定例会総合政策委員会で質問に立ち、クリテリウム開催による地域経済への波及効果や観光施策の抜本的な取り組み強化など、市の施策について質(ただ)しました。

市民に見える地域経済への波及効果は？

Q 土橋市議 クリテリウムは多額の税金を投入して開催しているイベントであり、市内の環境・経済において大きな役割を果たすべきだと考える。

クリテリウム経済波及効果算出業務報告書を見ると、推計来場者約9万5,000人のうち92.8%が日帰りにしている。ホテルの稼働率はどうか聞きたい。

A 商工観光部長 宿泊施設の稼働率は月単位の把握となる(観光庁宿泊旅行統計調査)。開催時期の9月10月を見ると、過去5年間とも9月に比べ10月は増加、特にクリテリウムが開催された3年間の増加率は高くなっている。また市内宿泊関係者の声としては、観戦目的の宿泊客が多かった、満室状態だったと聞いている。

Q 土橋市議 大きなイベントなので、もっと外から人を呼び込めるような地域経済に効果がもたらされるような仕組みが必要だと思う。

関連して、市の観光振興ビジョンには「エージェント向けのセールス強化」が示されている。クリテリウム開催に向け、旅行会社や鉄道会社が観光とパッケージさせた企画等があったのが聞きたい。

A 商工観光部長 そういった観点での旅行会社からの使用許可は無かった。

Q 土橋市議 自転車のまちづくりを進めている本市にとって、クリテリウムが自転車の販売増につながっているのが聞きたい。市民にとって目に見える地域経済への波及効果として聞いておきたい。

A 商工観光部長 自転車の年間商品販売額では、会場周辺の大宮区で約270%、中央区で400%と大幅な増加を示している。

また地域経済動向調査から、小売業全体で25年度は2.8%、27年度は1.3%とプラスになっている。イベントが地域経済に好影響を及ぼすことを示している。引き続き地域商業につながる施策を考えていきたい。

観光資源を本気になって掘り起こすとき

Q 土橋市議 次に観光資源について伺いたい。さいたま市観光振興ビジョンを見ても、その中身は昔から言っていること、多少文言を変えれば他の自治体でも使えるような中身になっているように思う。今までの枠を越え、市民を巻き込んだ本市独自の観光資源探しが必要だ。

新大宮上尾道路が着工へ

自動車専用「新大宮上尾道路」(与野JCT~桶川JCT、約15km)のうち、与野JCTから上尾南ICまで(8km区間)が平成28年度に着工される見通しとなりました。

3月2日には学識経験者などから意見を聞く「社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会」が開催され「おおむね妥当」と評価されています。



A 商工観光部長 外国人観光客の目を惹いた新たな観光資源や、地元の方しか知らないグルメなどがテレビ、インターネットを介して全世界に報道されている。指摘されたとおり、埋もれている観光資源を探さないといけない。既存概念にとらわれない形で、今後考えていきたい。

アイデアと熱意で本気のプロモーションを

Q 土橋市議 観光プロモーションについて伺いたい。この時代インパクトのないプロモーションは相手にされない。本市のポジティブなイメージ、ネガティブなイメージを一回本気で洗い出す必要があるのではと思う。ソーシャルメディアを最大限活用できる時代において、アイデアと熱意でどうにでもなる可能性がある。本市の本気度を聞きたい。

A 商工観光部長 当面は世界盆栽大会があるので、交通事業者、宿泊者、旅行者と受け入れ環境を整備するとともにプロモーションを展開していきたい。また、クールジャパンのものを結びつけて戦略的なプロモーションを展開していくために検討を進めている。

土橋市議 もう一つ殻を破ってもらって、面白い企画を考えて欲しい。私も協力したい。

フィルムコミッションも重要な観光資源

Q 土橋市議 次にフィルムコミッション事業について伺う。CMやドラマ・映画などのロケ地としてどのような場所が利用され、年間何件くらいあったのか聞きたい。また情報提供を含め事業の今後について伺いたい。

A 商工観光部長 現在稼働中の事業で、皆さまのご協力をいただきたいところでもある。現ロケーションサービスの中では、平成26年度は公園が96件、文化施設が45件、スポーツ施設が12件、その他の施設が12件で165件。その中でも誰もが知っているドラマや映画は9件。今後は民間事業者とも連携して、撮影許可というよりも撮影を支援して誘致していくような感覚で取り組んでいきたい。

土橋市議 観光で人を呼び込むことは本当に難しいことだと思う。どの自治体も観光振興をうたっており、他市にないような、もう一歩踏み込んだ企画をつくっていかなければ埋もれてしまう。今後提案させていただきたいと思う。

ふれあい収集の収集日が変わります！

さいたま市では、ごみを自分で出すことができない方々を対象に、市の職員がご自宅まで直接ごみを取りに伺う「ふれあい収集」を行っています。

桜区の収集日が、4月7日(木)から木曜日に変更となります。

ふれあい収集の対象となる方

- 高齢者
 - ①寝たきりや認知症などにより介護を必要とする要介護者や日常生活を送る上で支援が必要な方で、65歳以上の一人暮らしの高齢者
 - ②寝たきりや認知症などにより介護を必要とする要介護者や日常生活を送る上で支援が必要であり、65歳以上の高齢者が同居する家族がいる場合についても、同居者が高齢者や障害者等で、収集日までごみを持ち出すことができない場合

●障害者

- ①一人暮らしの障害者
- ②障害者に同居する家族がいる場合についても、同居者が高齢者や障害者等で、収集日までごみを持ち出すことができない場合

ふれあい収集で収集するごみ

通常収集所から収集しているごみ(もえるごみ・もえないごみ・資源物1類・資源物2類・有害危険ごみ)です。

※詳細は、市ホームページ (<http://www.city.saitama.jp/>) をご覧ください。市環境課 資源循環推進部 廃棄物対策課 (Tel: 048-829-1336 / Fax: 048-829-1991) までお問い合わせください。



さいたま市政への皆さまの声、ご意見・ご要望をお寄せください。

土橋勇司 政務活動事務所 〒338-0814 さいたま市桜区宿110-4

TEL: 048-854-7918 / FAX: 048-854-7786

E-mail: info@y-dobashi.sakura.ne.jp <http://y-dobashi.jp/>

～フェイスブックでも情報発信中!!～

